

脱サラ4人組 販路拡大へ力

来月、川崎で道物産展

札幌の通販会社

札幌の脱サラ四人組
が運営する道産品の通
信販売会社「感動いち
ば」(札幌市白石区)

が十一月下旬、川崎市
の商店会とタイアップ
して北海道物産展を開
く。道産の農水産物の
販売ルートの拡大と、
商店街の活性化との一
挙両得を狙う試みだ。

「感動いちば」は、
広告・印刷会社の元社

員、坂崎雄一郎さん
(三三)と吉原亘さん(四〇)

が二〇〇六年六月に立
ち上げた。二人は大手
食品メーカーの委託
で、道産品を道外の新

聞の折り込みチラシを
媒体にして道外の消費
者に通信販売するプロ
ジェクトの立ち上げに
かかわっていた。

しかしプロジェクト
は依頼主の会社の事情

でお蔵入りに。二人は
「それなら自分たちで
プロジェクトを続けよ
う」と通信販売の会社
を設立。二人の元同僚
の西島聖紀さん(三三)も
加わった。

最初の年は商品が売
れず、苦難続きだった。
栃木県の大手自動車メ
ーカーの企業城下町に
目をつけ、カニの通信
販売の折り込みチラシ
を十万余り入れたもの
の、不発に終わった。

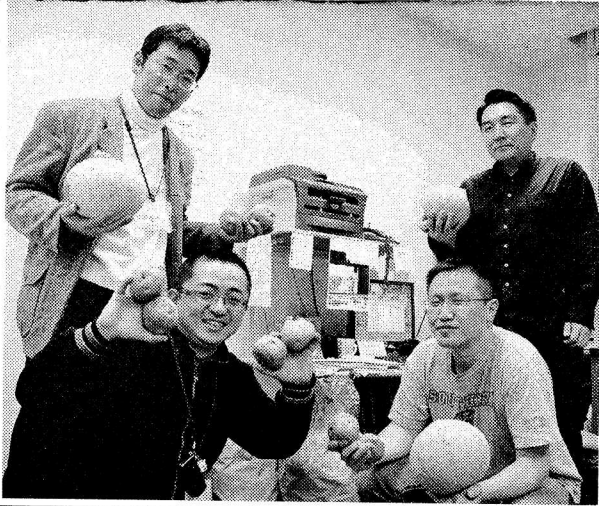
しかし札幌市産業振
興センターの担当者の
紹介で、大手新聞社の
販促用のギフトカタログ
を担当するようにな
り経営は軌道に乗り始
めた。今年三月期の売
り上げは六千六百万円
と、初年度の八倍に伸
びた。

今秋からは大手ソフ
トウェア会社の技術者
だった大野正典さん
(三三)も加わり、業務の
効率化を図った。

北海道物産展を住民
に身近な場所で開催す
るため、十一月下旬には川
崎市の長沢商店会とタ
イアップし物産展を開
く。商店街のイベント
広場を利用し、ジャガ
イモやカボチャ、水産

加工品、スイーツなど
を販売する。「道産品
は評判がいい。売れ行
きがよければ、定期的
に開きたい」と長沢商
店会の原山修会長(六〇)

は期待を寄せる。
坂崎さんは「道外に
商品売りたい人はせ
ひ声をかけてほしい」
と呼びかける。「感動
いちば」の連絡先は
812・7788へ。
(川村史子)



「感動いちば」の脱サラ社員たち。後列左の坂崎さんから時計回りに吉原さん、大野さん、西島さん。仕事も一杯飲む時もいっしょだ